

LION news

書き初め大会・こどもかるた大会

7名の書道ガールズによる大書パフォーマンス

平成31年2月3日(日)、金沢市民芸術村において「明るく伸びよう青少年」第8回初春書き初め大会ならびに第3回こどもかるた大会を開催いたしました。



書き初め大会では、開会式のアトラクションとして、七尾高校書道部7名の書道ガールズによる大書パフォーマンスを披露いたしました。縦4メートル×横5メートルの大きな紙に力強く筆を走らせ、A Iのハピネスという楽曲に合わせて「人と人の繋がり」を表現する「輪」という文字を豪快に書き上げました。その後の大会では、金沢市内小中学生68名が「いのしし」「春待つ心」など学年ごとの課題に取り組みました。子どもたちが書く文字はどれも力強く、とても小中学生が書いたものとは思えないほどの素晴らしい作品が次々と並びました。普段、パソコンでしか文字を記すことなくなった私たち大人たちはその出来栄に感心するばかりでした。こどもかるた大会では県内42名の小学生が参加し、予選を勝ち抜いた精鋭たちによりトーナメント戦を行い、日ごろの成果を競い合いました。一枚一枚に読み手の発声に神経を研ぎ澄ませ札を取り合う真剣勝負に会場は沸き返りっぱなしでした。

書き初め、かるたという古くから伝わる文化や遊びなどを通して交流を深めることのできる貴重な一日となりました。これらの大会の表彰式は、3月3日(日)に香林坊アトリオ広場1Fで開催いたします。



第 1406 回 第二例会

平成31年1月22日(火)金沢ニューグランドホテルにて第二例会が開催されました。開会の挨拶は地

域環境委員長(卯辰山事業)のL.林達博が壇上に立ち、5月19日(日)に行われる卯辰山公園ウォークラリーについてPRをかねて話されました。卯辰山という我々団塊の世代にとってはお花見や運動会、水族館や動物園があったイメージです。この事業は7クラブ合同アクトであるとともに金沢市との共同事業でもあります。今年は当クラブが担当となっています。来年はL.平櫻敏雄がゾンチェアパーソンとなるため金沢南ライオンズクラブが引き継いで行います。小雨決行となっておりますが、雨天・荒天の場合延期となるか中止なのかまでは決まっています。この卯辰山公園ウォークラリーを通じて近隣の市民にもっと卯辰山のことを知ってもらえるよう、マスメディアにも協力を要請していきます。今後リハーサルを行い綿密な計画を確認していきますが、多くのメンバーの協力なしにはできないことですので、たくさんのご参加をお願いいたします。この事業が素晴らしいアクトになるよう全力を尽くしていきますと力強い言葉で締めくくられました。ゲストスピーチでは有限会社タムラデザインの田村隆社長さまより講話があり、最近2人に友人をガンで亡くしました。とても若く告知から1年足らずでした。一方で先日75歳と60歳のカップルの結婚式をプロデュースしました。人生まだまだ、元気で長く生きている人もいます。経営者の不健康を推進する理由は3つあります。1つめは「過信」です。自分は大丈夫!!と思っているうちに病気が進行していきます。2つめは「多忙」であること。忙しい毎日で病院に行く時間があったくないと思ってしまう。3つめは「予算」。検査にかかる費用があるなら会社に投資したいと思ってしまう。病気になる前の「未病」のところで食い止めておけば長く元気でいられる。これからは未病産業が伸びてくる時代になると思う。未病であるためには日頃から自分のバイタルをチェックし知っておくこと。現在では簡単にバイタルを取得、保存比較できる機械がたくさんあります。ぜひそれらを利用して未病でいてください。これで健康は守れます、と話されました。

最後に浦田東一テーブルツイスターが登場し、人体のくぼみ3つについてお話しがあり、1.鼻の下は「人中」2.うなじのところは「盆のくぼみ」3.ヒザの裏側は「ひかがみ」と言います。メンバーの中で知っている人がいなかったのが500円のファインとなり例会を締めくくりました。(記事L.中村隆美)

編集後記 指名委員会もおわり、次年度理事選挙のための候補者リストが発表されます。早くも次期に話が移りますが、当クラブには春にZC発案の卯辰山ウォークラリーが開催されます。当クラブ輩出ZCの為に頑張ります。担当L.北川